



クロヨナ

マメ科

海岸林を代表する高木でホロホローの森でも多くみられます。小葉5~7枚で1セット(複葉)で、夏~秋季にうす紫色で香りの良い花を多数つけます。ウラナミシジミ、オキナワビロウドセセリなどの食草です。



ハカマカズラ

マメ科

葉は2つに裂け、袴のような形をしており、つる性で古い枝は木質化します。枝の先に淡黄色で5mm程度の花を多数つけ、実の中にはたねが3個ほどできます。リュウキュウミスジの食草です。



ハゼノキ

ウルシ科

小葉4~8対セットの羽状複葉で、葉のふちは、ギザギザになる幼木を除きなめらかです。樹皮は淡褐色で、冬季には紅葉し落葉します。ウルシの仲間なので、体質によってはかぶれることがあります。



オモロカズラ

ブドウ科

つる性植物。小葉3枚1セットの葉(複葉)で、そのふちはまばらにギザギザしています。以前はミツバビンボウカズラとされていたが、再検討され別種となりました。



サルカケミカン

ミカン科

つる性植物で葉は小葉3枚で1セット(複葉)。茎に猿も引っかけるとされる鋭いトゲが多数あります。小さいですが、ミカン同様の白い花が咲き、熟した実は赤くなります。シロオビアゲハ、ナガサキアゲハ、シンジュサンの食草です。



オオバギ

トウダイクサ科

高さ4~8mくらいで、葉はオオハマボウに似ますが、葉柄がハスの葉のように中央部につきます(盾状)。雌雄異株で、名は大葉木の意です。



ノアサガオ

ヒルガオ科

花は青紫色で、野外で普通にみられるアサガオ(野朝顔)です。つる性で茎の長さは10m以上にもなり、他の樹木に這い上って葉を茂らせ樹冠を覆ってしまいます。

どこまでも根をはっちゃうよ!



クチナシ

アカネ科

葉につやがあり無毛で、側脈はしわになります。樹高2~5mほどで、葉は茎に向かい合っつき、春季に香りが良い白い花を咲かせます。縦に6本のひだのある実は熟しても裂開しない、つまり口が開かないことから「口無し」の名がついています。イシカワシジミの食草です。